

政策評価調書(26年度実績)

政策名	元気あふれる地域づくりの推進	政策コード	Ⅱ-4	関係部局名	企画振興部
-----	----------------	-------	-----	-------	-------

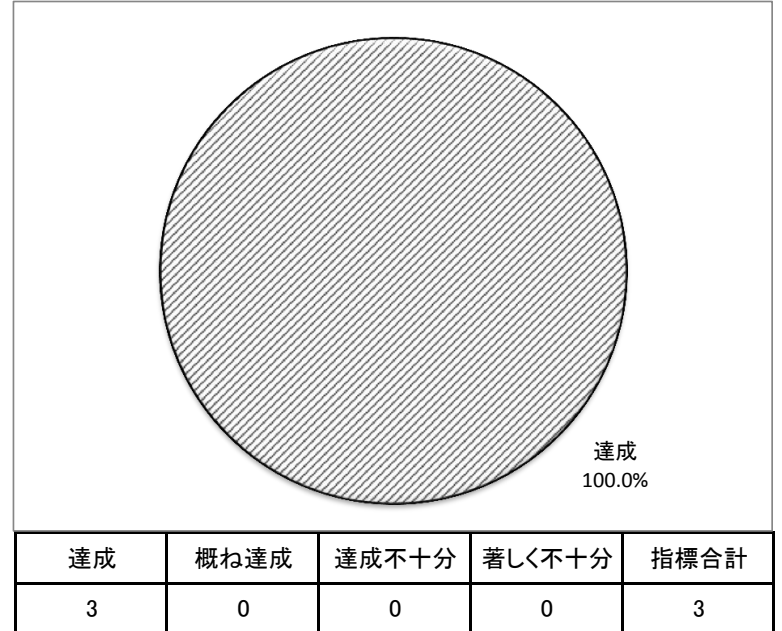
【Ⅰ. 政策の概要】

旧町村地域や過疎地域の活力の維持・向上に向け、持続可能なコミュニティビジネスの立ち上げから定着までの支援等の地域活性化策や、地域づくりの核となる人材の育成・確保などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	地域の元気を創造する取り組み	達成	A
2	地域振興を進める人材の育成・確保	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

人口減少や高齢化の進行により、地域の精神的支柱である祭りや伝統芸能の担い手や後継者が不足するなど、地域活力が減退している。今後も住み慣れた地域にいつまでも住み続けるためには、地域資源の活用や仕事の場づくり、伝統文化の継承など活力を生み出す取組が必要である。また、都市圏住民の農山漁村志向は上昇しており、この流れを本県への移住につなげる必要がある。

県内各地で芸術文化を通じた新たな地域づくりの動きが始まっている。また、世界農業遺産や日本ジオパークなどのブランド力を活用した地域の元気づくりが期待される。

平成25年度の「空き家実態調査」の結果、10,865件もの空き家があり、その7割は利活用が可能な空き家であることが判明した。そこで、地域の元気創造のため、これらの空き家や廃校を活かしたコミュニティ維持、活性化に資する地域ぐるみの取組を強化していく必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	-